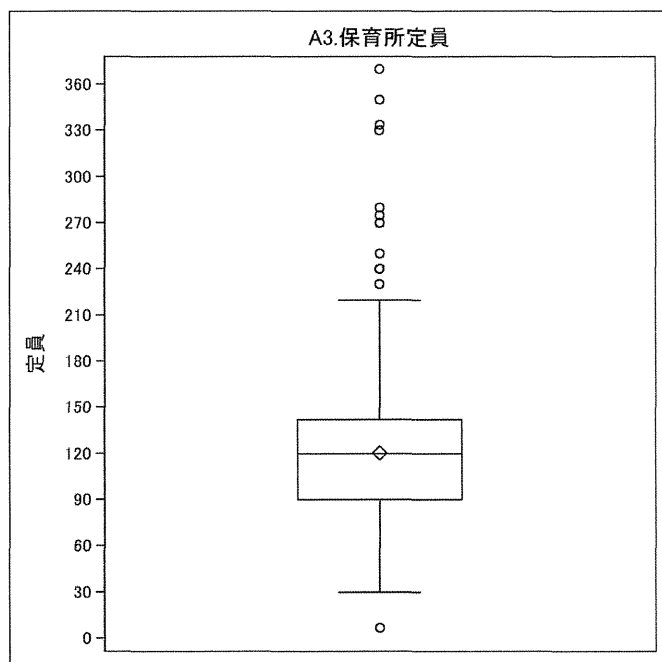
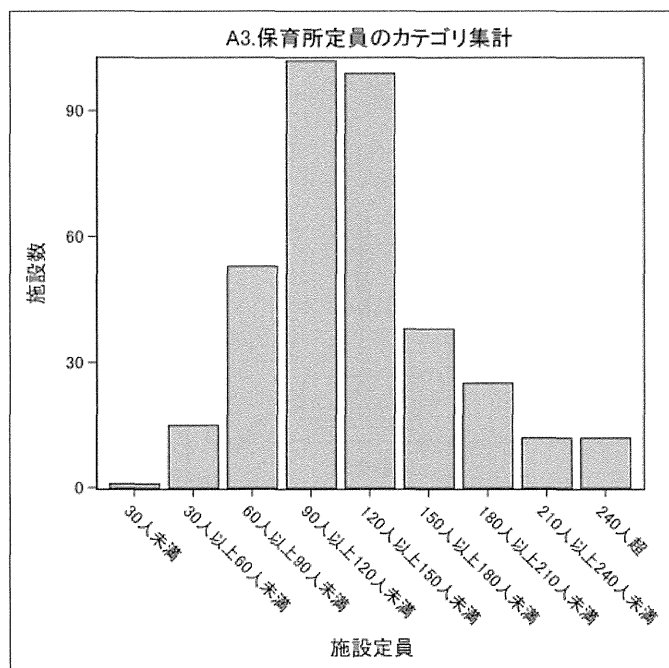


【参考】具体例

- 同じデータ（保育所定員）を異なる表示で示したものです。
- 上の棒グラフでは90人以上120人未満、120人以上150人未満を定員とする施設数が多いことがわかりますが、全調査対象施設に占める割合はわかりません。
- 下の図では定員90から140くらいを施設定員とする施設が、調査対象施設数（回答あり）のおよそ半数を占めることがわかります。最も少ない定員は10程度、最大定員で380程度と分かります。



4. 病児対応型・病後児対応型施設解析結果

付表3. 5歳未満人口10万対病児保育施設数
上位10都道府県

	都道府県	5歳未満人口10万対病児保育施設数
1	福井	31.2
2	島根	29.2
3	徳島	28.7
4	山口	27.9
5	香川	26.4
6	石川	23.5
7	鳥取	20.6
8	熊本	20.0
9	長崎	19.8
10	山梨	17.0

付表4. 平成24年合計特殊出生率
上位10都道府県

	都道府県	合計特殊出生率
1	沖縄	1.90
2	島根	1.68
3	宮崎	1.67
4	鹿児島	1.64
5	長崎	1.63
6	熊本	1.62
7	佐賀	1.61
8	福井	1.60
9	鳥取	1.57
10	香川	1.56

○ 5歳未満人口10万対病児保育施設数上位10都道府県のうち6県は、平成24年度合計特殊出生率上位10都道府県であった。なお、5歳未満人口10万対病後児保育施設数及び体調不良児対応型施設数と合計特殊出生率には有意な相関は認められなかった。

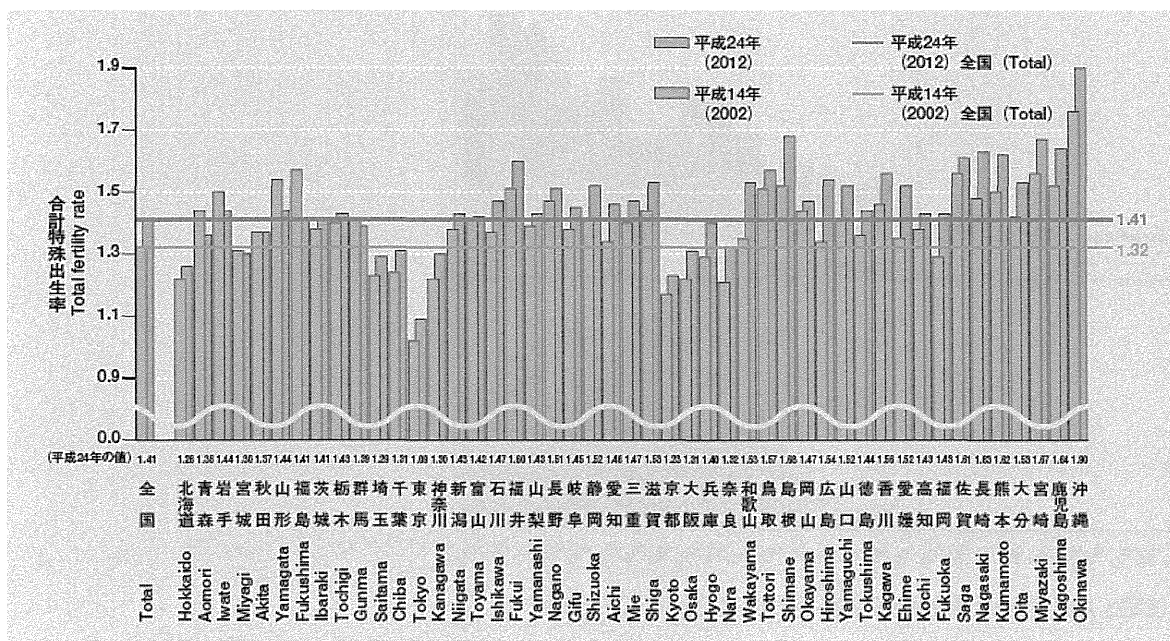
【参考】平成24年度 都道府県別合計特殊出生率（厚生労働省「平成26年我が国の人口動態」より）

<http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/dl/81-1a2.pdf>

都道府県	合計特殊出生率	都道府県	合計特殊出生率	都道府県	合計特殊出生率	都道府県	合計特殊出生率
全国	1.41	千葉	1.31	三重	1.47	徳島	1.44
北海道	1.26	東京	1.09	滋賀	1.53	香川	1.56
青森	1.36	神奈川	1.30	京都	1.23	愛媛	1.52
岩手	1.44	新潟	1.43	大阪	1.31	高知	1.43
宮城	1.30	富山	1.42	兵庫	1.40	福岡	1.43
秋田	1.37	石川	1.47	奈良	1.32	佐賀	1.61
山形	1.44	福井	1.60	和歌山	1.53	長崎	1.63
福島	1.41	山梨	1.43	鳥取	1.57	熊本	1.62
茨城	1.41	長野	1.51	島根	1.68	大分	1.53
栃木	1.43	岐阜	1.45	岡山	1.47	宮崎	1.67
群馬	1.39	静岡	1.52	広島	1.54	鹿児島	1.64
埼玉	1.29	愛知	1.46	山口	1.52	沖縄	1.90

都道府県別にみた合計特殊出生率の年次比較—平成14・24年—

Comparison of total fertility rates by prefecture, 2002・2012



注：分母に用いた人口は、全国は各歳別日本人人口、都道府県は5歳階級別総人口である。

A1. 施設型

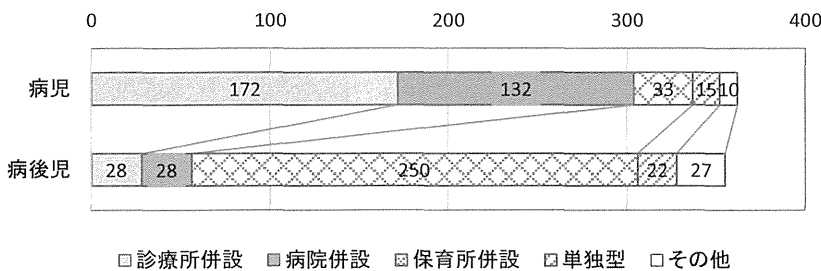
- 病児対応型は医療機関併設が84%をしめている一方、病後児対応型は医療機関併設型は16%のみで、保育所併設が70%をしめている。

A1. 施設型と補助金種別

	ALL		病児		病後児	
	N	(%)	N	(%)	N	(%)
施設数	717	(100.0)	362	(100.0)	355	(100.0)
診療所併設	200	(27.9)	172	(47.5)	28	(7.9)
病院併設	160	(22.3)	132	(36.5)	28	(7.9)
保育所併設	283	(39.5)	33	(9.1)	250	(70.4)
単独型	37	(5.2)	15	(4.1)	22	(6.2)
※その他	37	(5.2)	10	(2.8)	27	(7.6)

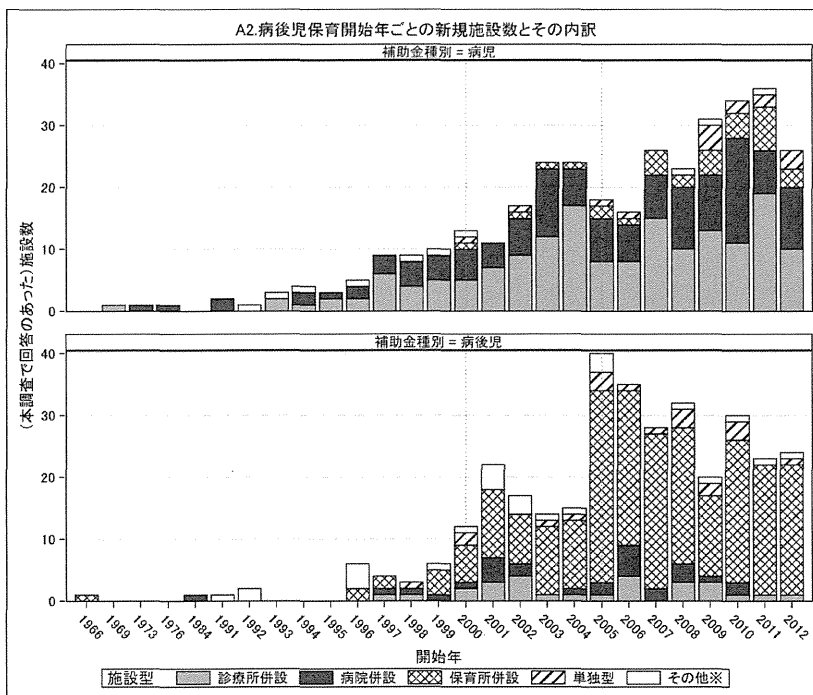
・病児・病後児は補助金種別

※「その他」は調査票の「乳児院併設」・「児童養護施設併設」・「その他」をまとめたもの



A2. 病児・病後児保育開始年

- 病児対応型の事業開始施設が増加傾向であるのに対して、病後児対応型は2005年をピークにその後の事業開始施設は減少傾向にある。

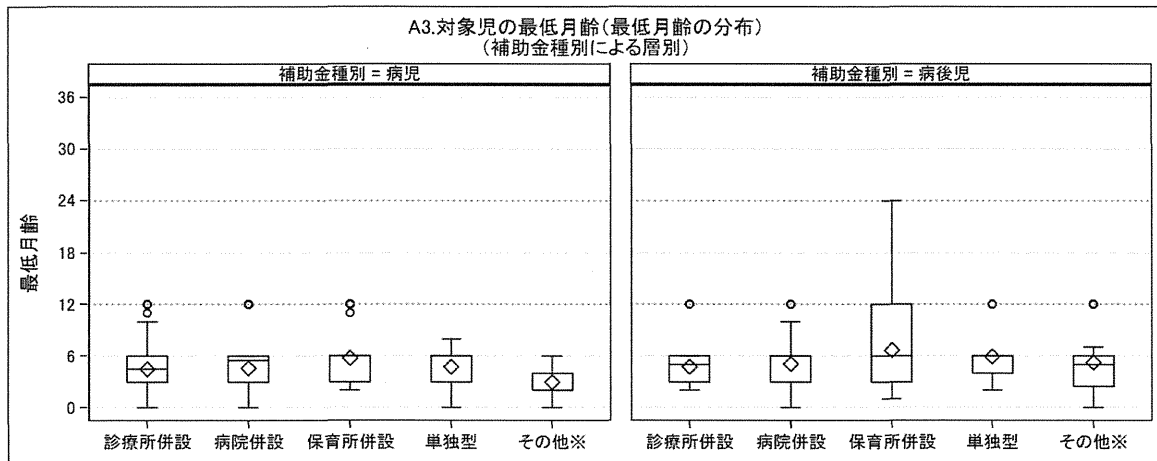


A3. 対象児年齢

① 下限月齢の中央値は、病児対応型が 5.0 か月、病後児対応型が 6.0 か月であった。

A3. 対象児年齢下限と補助金種・施設型別

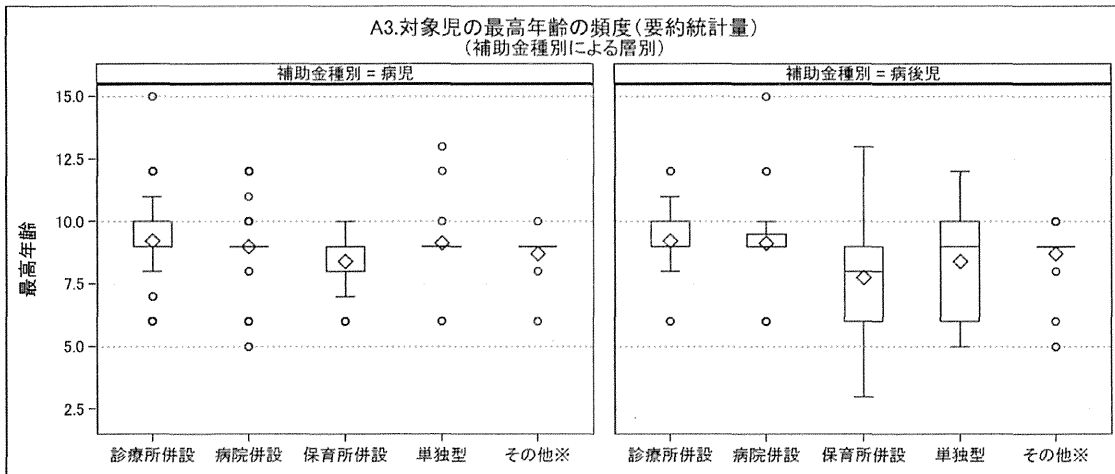
	All	補助金種別		補助金種別									
				病児					病後児				
		病児	病後児	施設型					施設型				
				診療所併設	病院併設	保育所併設	単独型	その他	診療所併設	病院併設	保育所併設	単独型	その他
N	678	339	339	164	120	31	15	9	27	26	241	21	24
Mean	5.4	4.6	6.3	4.5	4.6	5.7	4.7	3.0	4.7	5.1	6.7	6.0	5.3
Std	3.44	2.50	4.00	2.17	2.72	3.05	2.31	2.12	2.67	3.01	4.27	2.85	3.59
Min	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	1	2	0
Median	6.0	5.0	6.0	4.5	5.5	6.0	6.0	2.0	5.0	6.0	6.0	6.0	5.0
Max	24	12	24	12	12	12	8	6	12	12	24	12	12
NMiss	39	23	16	8	12	2	0	1	1	2	9	1	3



② 上限年齢の中央値は、病児対応型・病後児対応型ともに 9 歳（小学 3 年生）であった。

A3. 対象児年齢上限と補助金種・施設型別

	All	補助金種別		補助金種別									
				病児					病後児				
		病児	病後児	施設型					施設型				
				診療所併設	病院併設	保育所併設	単独型	その他	診療所併設	病院併設	保育所併設	単独型	その他
N	707	356	351	172	127	32	15	10	28	28	246	22	27
Mean	8.6	9.0	8.1	9.2	9.0	8.4	9.1	8.7	9.2	9.1	7.7	8.4	8.7
Std	1.70	1.42	1.83	1.30	1.55	1.32	1.77	1.06	1.29	1.86	1.79	2.11	1.30
Min	3	5	3	6	5	6	6	6	6	6	3	5	5
Median	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0	8.0	9.0	9.0
Max	15	15	15	15	12	10	13	10	12	15	13	12	10
NMiss	10	6	4	0	5	1	0	0	0	0	4	0	0

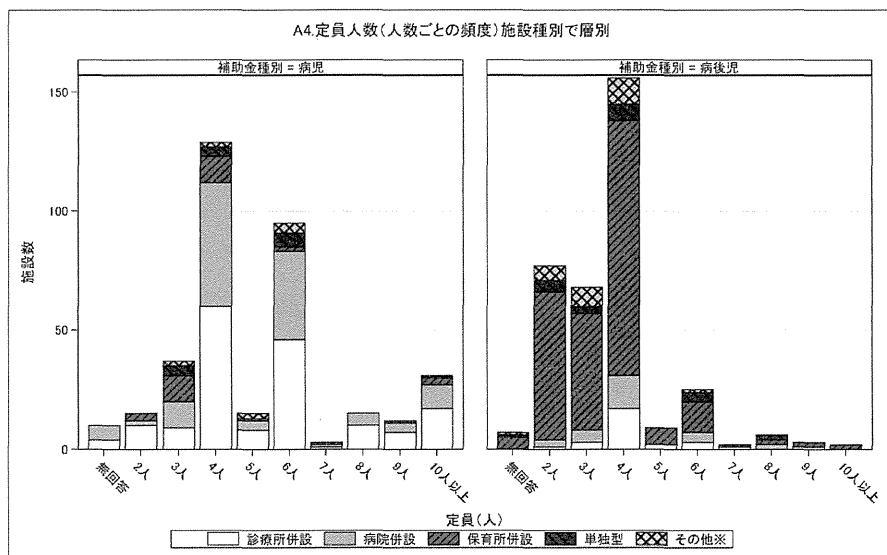


A4. 定員

○ 病児対応型・病後児対応型ともに、4人定員が最も多かった(病児対応型: 36%、病後児対応型: 44%)が、次いで多いのは病児対応型が6人定員(26%)に対して、病後児対応型は2人定員(22%)であった。

A4. 定員人数

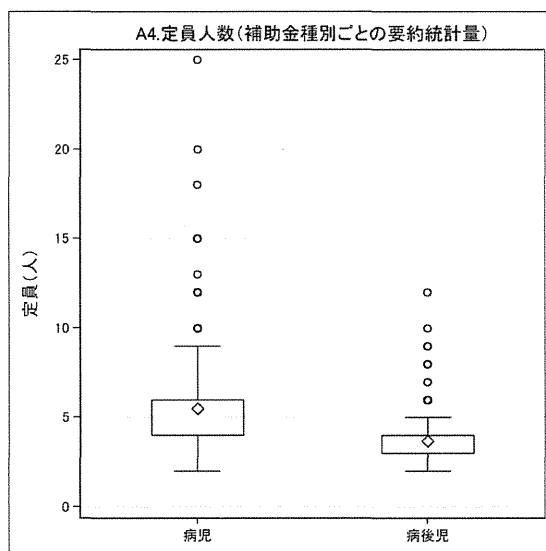
	N	(%)	補助金種別				A1.施設型※									
			病児		病後児		病院併設		診療所併設		保育所併設		単独型		その他※	
	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)
施設数	717	(100.0)	362	(100.0)	355	(100.0)	160	(100.0)	200	(100.0)	283	(100.0)	37	(100.0)	37	(100.0)
無回答	17	(2.4)	10	(2.8)	7	(2.0)	6	(3.8)	4	(2.0)	5	(1.8)	1	(2.7)	1	(2.7)
2人	92	(12.8)	15	(4.1)	77	(21.7)	5	(3.1)	11	(5.5)	65	(23.0)	5	(13.5)	6	(16.2)
3人	105	(14.6)	37	(10.2)	68	(19.2)	16	(10.0)	12	(6.0)	60	(21.2)	7	(18.9)	10	(27.0)
4人	285	(39.7)	129	(35.6)	156	(43.9)	66	(41.3)	77	(38.5)	118	(41.7)	11	(29.7)	13	(35.1)
5人	24	(3.3)	15	(4.1)	9	(2.5)	4	(2.5)	10	(5.0)	8	(2.8)	.	.	2	(5.4)
6人	120	(16.7)	95	(26.2)	25	(7.0)	41	(25.6)	49	(24.5)	15	(5.3)	10	(27.0)	5	(13.5)
7人	5	(0.7)	3	(0.8)	2	(0.6)	1	(0.6)	2	(1.0)	2	(0.7)
8人	21	(2.9)	15	(4.1)	6	(1.7)	7	(4.4)	10	(5.0)	2	(0.7)	2	(5.4)	.	.
9人	15	(2.1)	12	(3.3)	3	(0.8)	4	(2.5)	8	(4.0)	3	(1.1)
10人以上	33	(4.6)	31	(8.6)	2	(0.6)	10	(6.3)	17	(8.5)	5	(1.8)	1	(2.7)	.	.



○ 病児対応型・病後児対応型ともに、定員人数の中央値は4.0人であった。

A4. 定員人数

	All	補助金種別	
		病児	病後児
施設数	717	362	355
N	700	352	348
Mean	4.6	5.5	3.7
Std	2.45	2.86	1.46
Min	2	2	2
Median	4.0	4.0	4.0
Max	25	25	12
NMiss	17	10	7



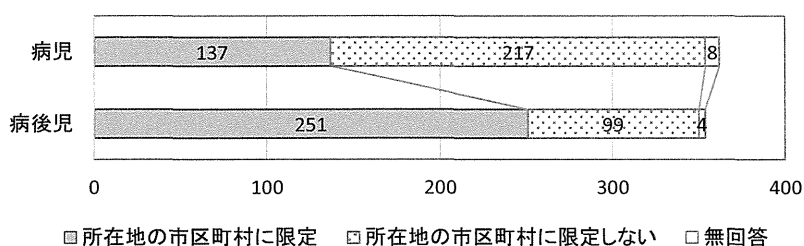
A5. 対象者

○ 対象者を施設所在地の市区町村に限定(*)する施設は病児対応型が38%であるのに対して、病後児対応型は71%と多かった。

A5. 対象者と補助金種別

	ALL		病児		病後児	
	N	(%)	N	(%)	N	(%)
施設数	717	(100.0)	362	(100.0)	355	(100.0)
所在地の市区町村に限定(*)	388	(54.1)	137	(37.8)	251	(70.7)
所在地の市区町村に限定しない	316	(44.1)	217	(59.9)	99	(27.9)
無回答	12	(1.7)	8	(2.2)	4	(1.1)

(*) 限定：対象者の居住地以外に勤務地及び通所保育所所在地も含む



A6. 受入児童

○ 病後児対応型 355 施設のうち 58 施設 (16%) が、病児も含む病児・病後児を受け入れていると回答した。

A6. 受入児童と補助金種別

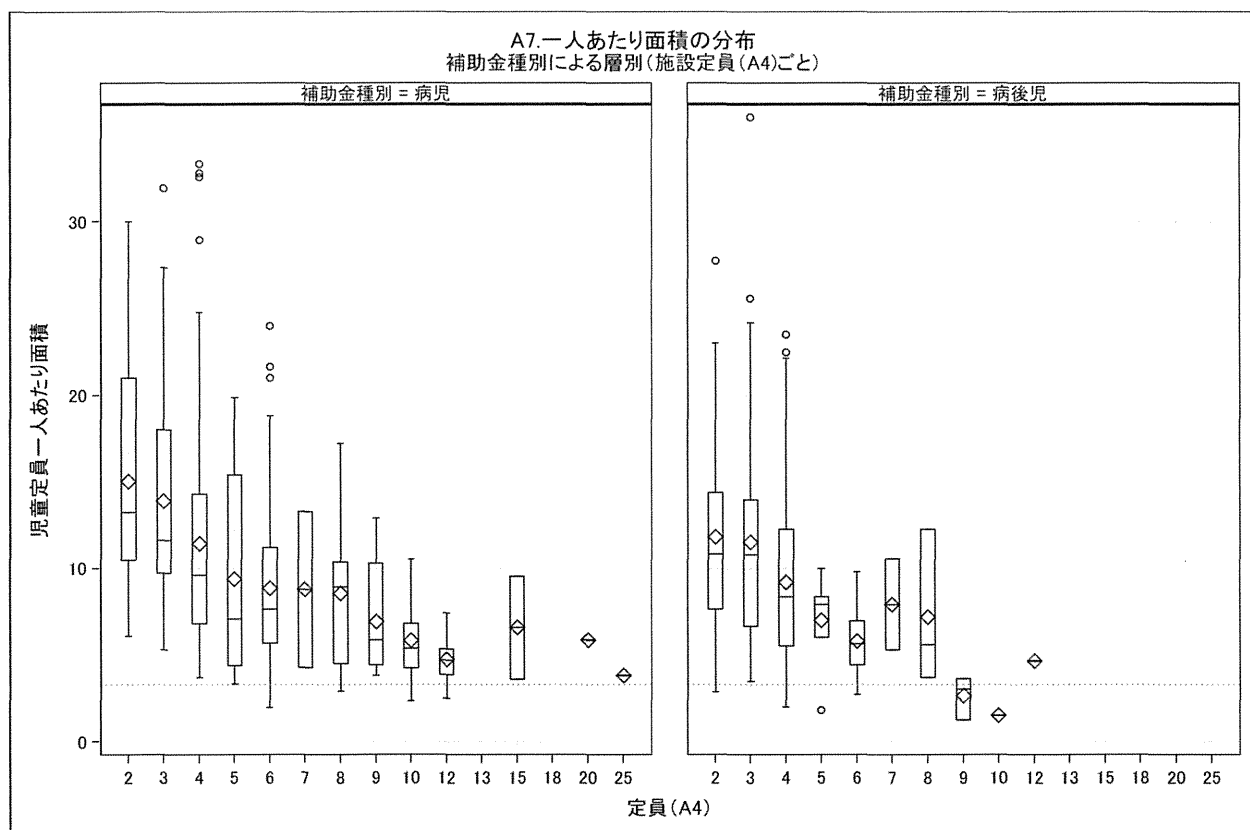
	All		補助金種別			
	N	(%)	病児		病後児	
			N	(%)	N	(%)
施設数	717	(100.0)	362	(100.0)	355	(100.0)
回復期の病後児のみ	289	(40.3)	0	(0.0)	289	(81.4)
病児・病後児	416	(58.0)	358	(98.9)	58	(16.3)
無回答	12	(1.7)	4	(1.1)	8	(2.3)

A7. 病児・病後児保育室の面積

- 病児対応型施設保育室の中央値は 42.3m²、病後児対応施設保育室の中央値は 29.8m²であった。
- 定員1人あたりの保育室面積の中央値は、病児対応型で 8.6m²、病後児対応型で 8.7m²であった。

A7. 病児・病後児保育室の面積

面積		補助金種別												
		All	病児						病後児					
			All	施設型					All	施設型				
				診療所併設	病院併設	保育所併設	単独型	その他※		診療所併設	病院併設	保育所併設	単独型	その他※
施設数	717	362	172	132	33	15	10	355	28	28	250	22	27	
保育室の合計 総面積 (m ²)	N	556	282	133	103	27	13	6	274	22	22	191	19	20
	Mean	42.3	51.1	52.3	55.4	38.8	38.3	32.7	33.3	43.8	38.5	30.2	40.2	39.3
	Std	25.12	28.02	27.34	30.37	23.65	14.60	10.24	17.75	20.85	18.76	15.59	24.56	17.85
	Min	6	12	13	12	12	12	21	6	19	16	6	11	12
	Median	36.0	42.3	46.0	46.2	33.0	35.3	31.2	29.8	39.5	35.3	26.7	34.7	41.6
	Max	144	144	143	144	131	62	49	108	94	82	108	98	68
	NMiss	161	80	39	29	6	2	4	81	6	6	59	3	7
定員一人あたりの 保育室面積 (m ² /人) (=保育室面積/定員:A4)	N	544	276	130	100	27	13	6	268	22	22	187	18	19
	Mean	10.0	10.2	9.8	10.9	10.3	8.7	7.6	9.8	10.6	10.8	9.3	10.6	11.7
	Std	5.70	6.03	5.78	6.37	6.72	5.25	2.34	5.36	6.09	6.35	5.12	5.93	4.76
	Min	1	2	2	2	4	2	4	1	3	3	1	3	3
	Median	8.7	8.6	8.2	9.3	8.3	7.5	8.3	8.7	9.2	9.1	8.3	9.7	10.3
	Max	36	33	33	33	33	21	10	36	24	26	36	23	23
	NMiss	173	86	42	32	6	2	4	87	6	6	63	4	8



A8. 利用料金の設定

○ 687 施設 (96%) が、1 日あたりの利用料金設定と回答した。1 日あたりの利用料金設定は、最小値 0 円、最大値 6000 円、病児対応型・病後児対応型ともに中央値 2000 円であった。

A8. 利用料金

料金		All	補助金種別		施設型				
			病児	病後児	診療所併設	病院併設	保育所併設	単独型	その他
施設数	N	717	362	355	200	160	283	37	37
1日あたり料金	N	687	346	341	195	150	272	35	35
	Mean	1868.4	2005.7	1729.0	2032.3	2006.7	1670.7	1875.7	1891.4
	Std	739.51	663.54	786.12	651.43	644.22	825.03	737.28	522.65
	Min	0	0	0	0	0	0	0	0
	Median	2000.0	2000.0	2000.0	2000.0	2000.0	2000.0	2000.0	2000.0
	Max	6000	6000	4600	6000	6000	4600	3500	3000
	NMiss	30	16	14	5	10	11	2	2

A9. キャンセル料の設定

○ 679 施設 (95%) が「キャンセル料の設定なし」と回答し、「設定あり」との回答は 36 施設 (5%) のみであった。

A9. キャンセル料設定と補助金種別

	All		補助金種別			
			病児		病後児	
	N	(%)	N	(%)	N	(%)
施設数	717	(100.0)	362	(100.0)	355	(100.0)
なし	679	(94.7)	335	(92.5)	344	(96.9)
あり	36	(5.0)	26	(7.2)	10	(2.8)
無回答	2	(0.3)	1	(0.3)	1	(0.3)

A10. 開室日

○ 平日のみが 50%、平日と土曜日が 49%であった。

A10. 開室日と補助金種別

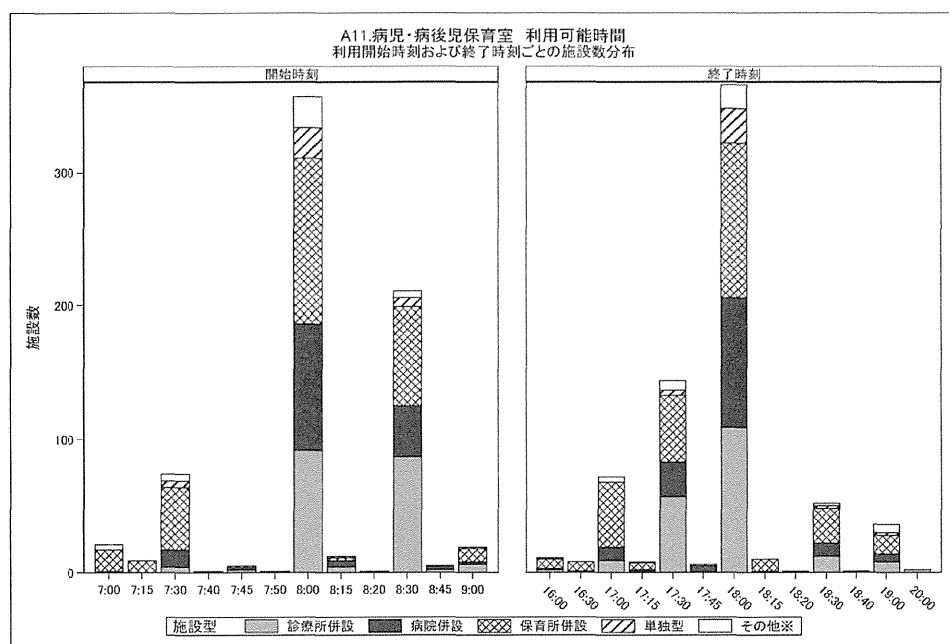
	All		補助金種別			
			病児		病後児	
	N	(%)	N	(%)	N	(%)
施設数	717	(100.0)	362	(100.0)	355	(100.0)
平日のみ	357	(49.8)	168	(46.4)	189	(53.2)
平日と土曜日	352	(49.1)	190	(52.5)	162	(45.6)
平日と土・日曜・祝日	8	(1.1)	4	(1.1)	4	(1.1)

A11. 開室時間帯

- 病児対応型・病後児対応型ともに、開始時刻は午前8時が最も多く(50%)、平日終了時刻は午後6時が最も多かった(51%)。
- 開室時間(=終了時刻-開始時刻)は、最小7~最大12時間で、10時間が最も多く36.5%をしめた。

A11. 開室時間

施設数	平日					
	All		病児		病後児	
	N	(%)	N	(%)	N	(%)
施設数	717	(100.0)	362	(100.0)	355	(100.0)
無回答	1	(0.1)	1	(0.3)	.	.
7時間以上8時間未満	5	(0.7)	.	.	5	(1.4)
8時間以上9時間未満	63	(8.8)	21	(5.8)	42	(11.8)
9時間以上10時間未満	246	(34.3)	149	(41.2)	97	(27.3)
10時間以上11時間未満	312	(43.4)	167	(46.3)	145	(40.9)
11時間以上~12時間15分	90	(12.5)	24	(6.7)	66	(18.6)



A12. 当日予約の可否

- 前日予約のみは、病児対応型は3.9%のみ、病後児対応型は14.1%であり、当日も受け入れる施設が多かった。

A12. 当日予約の可否と補助金種別

施設数	補助金種別					
	All		病児		病後児	
	N	(%)	N	(%)	N	(%)
施設数	717	(100.0)	362	(100.0)	355	(100.0)
当日予約も受ける	639	(89.1)	338	(93.4)	301	(84.8)
前日予約のみ	64	(8.9)	14	(3.9)	50	(14.1)
無回答	14	(2.0)	10	(2.8)	4	(1.1)

A13. 予約方法（直接受診・直接来室以外の予約方法）

- 電話予約が最も多く 91%をしめた。

A13. 予約方法と補助金種別

	A//		補助金種別			
			病児		病後児	
	N	(%)	N	(%)	N	(%)
施設数	717	(100.0)	362	(100.0)	355	(100.0)
電話予約	654	(91.2)	317	(87.6)	337	(94.9)
電話予約/Web予約	32	(4.5)	26	(7.2)	6	(1.7)
その他(FAX等)	22	(3.1)	15	(4.1)	7	(2.0)
電話予約/その他	4	(0.6)	0	(0)	4	(1.1)
Web予約	3	(0.4)	3	(0.8)	0	(0)
無回答	2	(0.3)	1	(0.3)	1	(0.3)

A14. 昼食

- 自施設での提供が 68%をしめ、弁当等の持参は 35%であった。
- 保育所併設施設では自施設調理員調理による提供が多かった(92%)のに対し、診療所併設では弁当等の持参が多かった(63%)。

A14. 昼食提供と補助金種別

【複数回答】	補助金種別					
	全体 (n=717)		病児 (n=362)		病後児 (n=355)	
	N	(%)	N	(%)	N	(%)
1.自施設調理員の調理により提供	430	(60.0)	147	(40.6)	283	(79.7)
2.自施設病児・病後児保育スタッフの調理により提供	57	(7.9)	47	(13.0)	10	(2.8)
3.外部搬入により提供	39	(5.4)	29	(8.0)	10	(2.8)
4.弁当等を持参してもらう	253	(35.3)	186	(51.4)	67	(18.9)
5.その他	60	(8.4)	33	(9.1)	27	(7.6)

A14. 昼食提供と施設型別

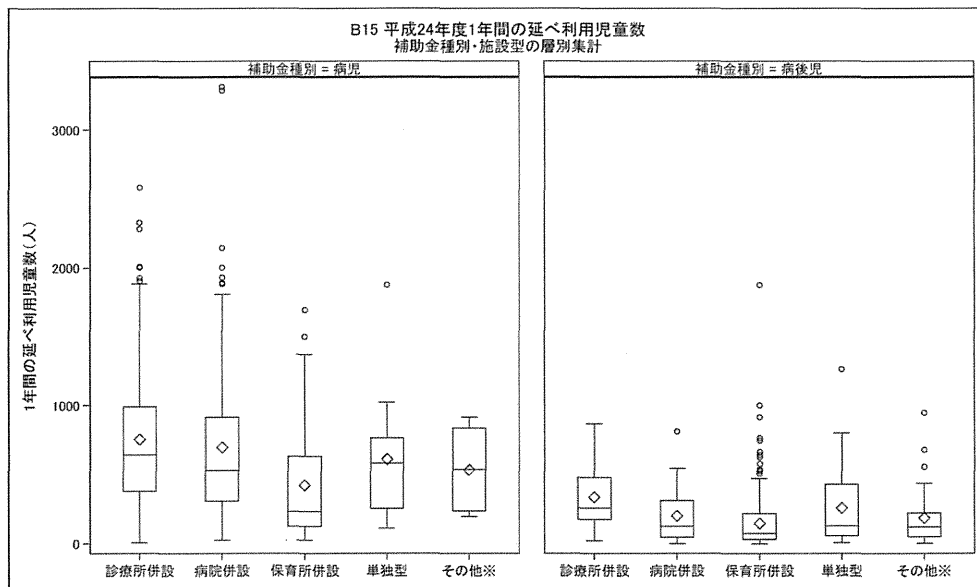
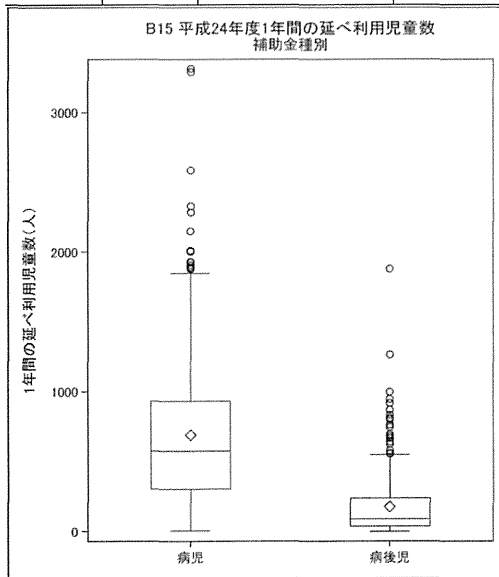
【複数回答】	施設型											
	全体 (n=717)		診療所併設 (n=200)		病院併設 (n=160)		保育所併設 (n=283)		単独型 (n=37)		その他 (n=37)	
	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)
1.自施設調理員調理により提供	430	(60.0)	42	(21.0)	91	(56.9)	260	(91.9)	11	(29.7)	26	(70.3)
2.自施設保育スタッフ調理により提供	57	(7.9)	41	(20.5)	9	(5.6)	0	(0.0)	5	(13.5)	2	(5.4)
3.外部搬入により提供	39	(5.4)	16	(8.0)	17	(10.6)	4	(1.4)	2	(5.4)	0	(0.0)
4.弁当等を持参してもらう	253	(35.3)	126	(63.0)	67	(41.9)	31	(11.0)	20	(54.1)	9	(24.3)
5.その他	60	(8.4)	17	(8.5)	16	(10.0)	18	(6.4)	3	(8.1)	6	(16.2)

B15-16. 平成 24 年度 1 年間の利用状況

- 1 年間の延べ利用児童数の中央値は、病児対応型施設が 90 人であったのに対し、病児対応型施設は 6 倍以上の 577 人であった。施設型では診療所併設型が 579 人で最も多く、保育所併設型が 82 人と最も少なかった。

B16. 1 年間の延べ利用児童数と補助金種・施設型別

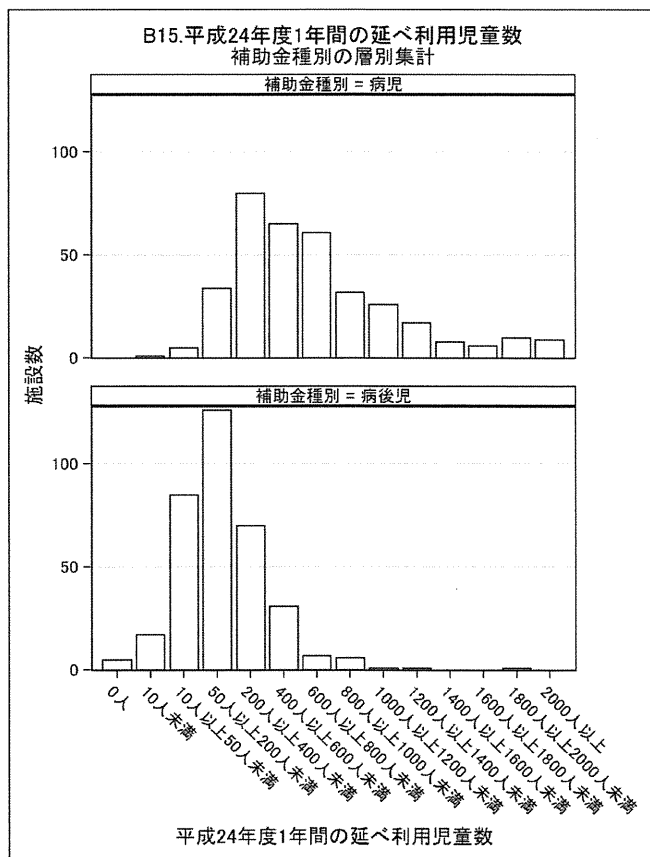
	All	補助金種別		施設型				
		病児	病後児	診療所併設	病院併設	保育所併設	単独型	その他
施設数	717	362	355	200	160	283	37	37
N	704	354	350	195	156	280	36	37
Mean	435.2	690.9	176.6	697.4	608.5	180.3	405.8	279.9
Std	476.76	523.37	217.78	493.10	560.85	253.50	407.54	285.01
Min	0	7	0	7	1	0	9	3
Median	268.0	576.5	90.0	579.0	460.0	82.0	243.5	138.0
Max	3314	3314	1878	2585	3314	1878	1878	948
NMiss	13	8	5	5	4	3	1	0
累計	306379	244572	61807	135993	94925	50496	14610	10355



- 1年間の延べ利用児童数は、病児対応型施設は200人以上400人未満が最多（22%）で次いで400人以上600人未満（18%）であったのに対し、病後児対応型施設は50人以上200人未満が最多（36%）で次いで10人以上50人未満（24%）であった。

B15. 年間延べ利用児童数と補助金種別

1年間の延べ利用児童数	補助金種別					
	All		病児		病後児	
	N	(%)	N	(%)	N	(%)
施設数	717	(100.0)	362	(100.0)	355	(100.0)
無回答	13	(1.8)	8	(2.2)	5	(1.4)
0人	5	(0.7)	.	(0.0)	5	(1.4)
10人未満	18	(2.5)	1	(0.3)	17	(4.8)
10人以上50人未満	90	(12.6)	5	(1.4)	85	(23.9)
50人以上200人未満	160	(22.3)	34	(9.4)	126	(35.5)
200人以上400人未満	150	(20.9)	80	(22.1)	70	(19.7)
400人以上600人未満	96	(13.4)	65	(18.0)	31	(8.7)
600人以上800人未満	68	(9.5)	61	(16.9)	7	(2.0)
800人以上1000人未満	38	(5.3)	32	(8.8)	6	(1.7)
1000人以上1200人未満	27	(3.8)	26	(7.2)	1	(0.3)
1200人以上1400人未満	18	(2.5)	17	(4.7)	1	(0.3)
1400人以上1600人未満	8	(1.1)	8	(2.2)	0	(0.0)
1600人以上1800人未満	6	(0.8)	6	(1.7)	0	(0.0)
1800人以上2000人未満	11	(1.5)	10	(2.8)	1	(0.3)
2000人以上	9	(1.3)	9	(2.5)	0	(0.0)



○ 1施設あたりのキャンセル率(*)は、病児対応型・病後児対応型ともに平均値 25%であった。

(*) 1施設あたりのキャンセル率 = 平成 24 年度年間延べキャンセル数 × 100 / (年間延べ利用児数 + 年間延べキャンセル数)

B16. キャンセル率と補助金種・施設型別

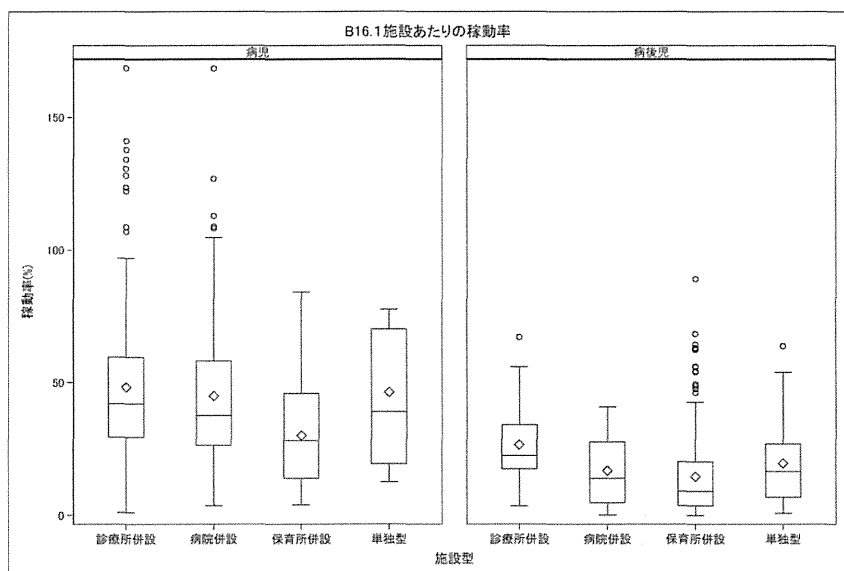
	All	補助金種別		補助金種別								
				病児				病後児				
				施設型				施設型				
				診療所併設	病院併設	保育所併設	単独型	診療所併設	病院併設	保育所併設	単独型	
1施設あたりのキャンセル率	N	544	303	241	144	109	27	15	17	20	165	16
	Mean	24.89	25.16	24.56	23.93	26.46	23.00	26.92	24.17	33.03	23.31	25.72
	Std	16.258	14.314	18.441	14.305	13.380	17.728	15.351	14.328	13.604	19.498	16.623
	Min	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.5	0.0	8.9	0.0	0.0
	Median	25.08	25.64	23.53	23.91	27.03	21.09	24.59	22.50	32.74	20.81	28.77
	Max	87.7	87.7	70.2	60.9	87.7	64.1	51.1	53.5	56.3	70.2	49.1
	NMiss	173	59	114	28	23	6	0	11	8	85	6

○ 平成 24 年度 1 年間の 1 施設あたりの許容定員に対する利用率(*)は、病児対応型が 45%であったのに対し、病後児対応型は 16%と約 3 分の 1 であった。

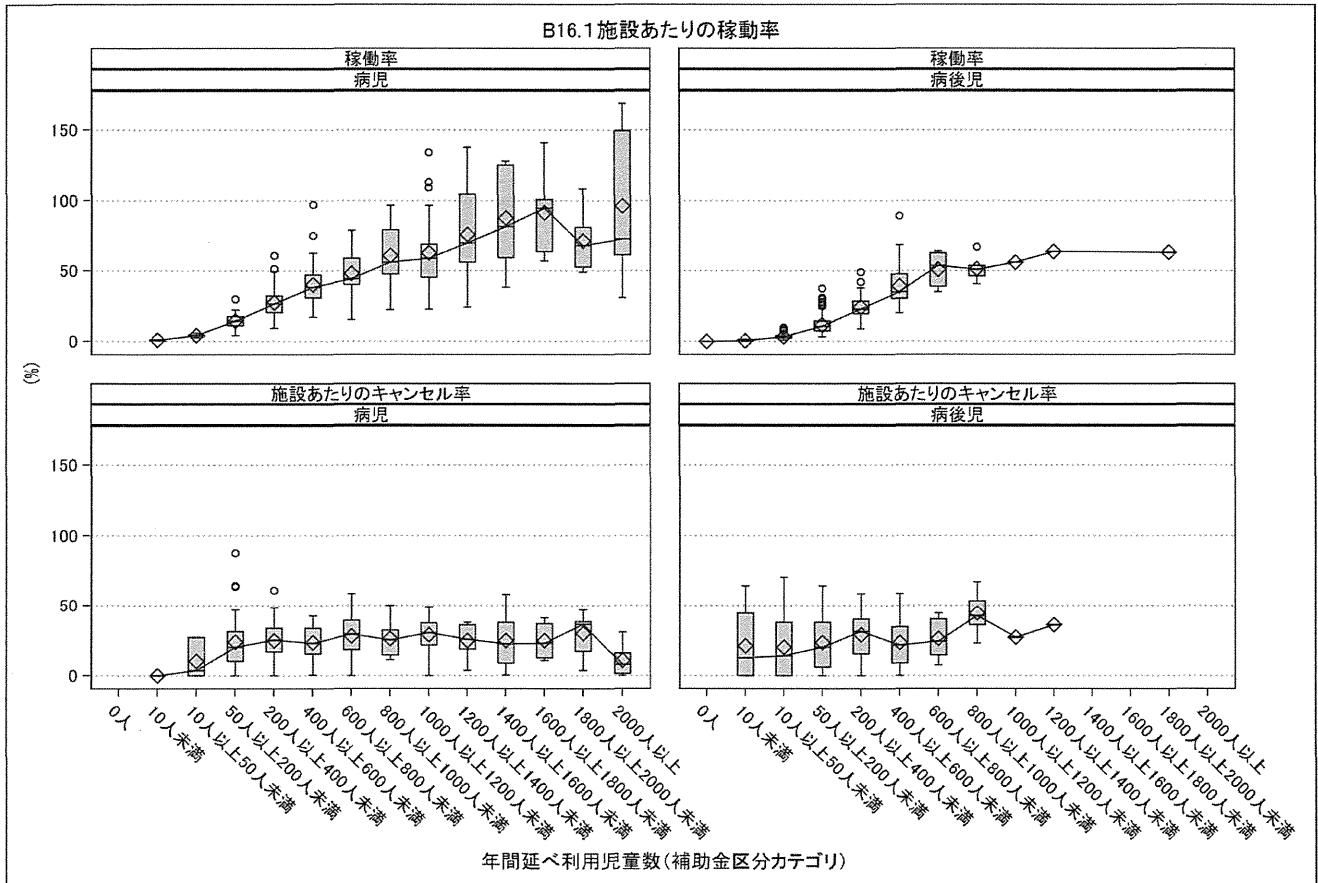
(*) 平成 24 年度年間 1 施設あたりの許容定員に対する利用率 = 平成 24 年度年間利用児数 × 100 / (施設定員 × 年間開室日数)

B15-A4-A10. 平成 24 年度 1 年間の 1 施設あたりの許容定員に対する利用率 (稼働率)

	All	補助金種別		補助金種別								
				病児				病後児				
				施設型				施設型				
				診療所併設	病院併設	保育所併設	単独型	診療所併設	病院併設	保育所併設	単独型	
1施設あたりの利用率	N	687	344	343	165	122	32	15	26	28	243	20
	Mean	30.50	44.96	16.01	48.26	44.84	30.02	46.26	26.48	16.80	14.58	19.48
	Std	26.558	27.512	15.323	28.766	27.657	19.943	24.480	15.620	12.718	15.217	17.118
	Min	0.0	1.2	0.0	1.2	3.6	4.0	12.5	3.5	0.1	0.0	0.7
	Median	24.83	39.59	10.89	41.98	37.47	28.17	39.05	22.38	13.89	9.09	16.48
	Max	168.7	168.7	89.1	168.7	168.6	84.2	77.6	67.1	40.9	89.1	63.7
	NMiss	30	18	12	7	10	1	0	2	0	7	2



○ 1年間の延べ利用児童数が多い施設ほど許容定員に対する利用率（稼働率）は高い傾向にあった。

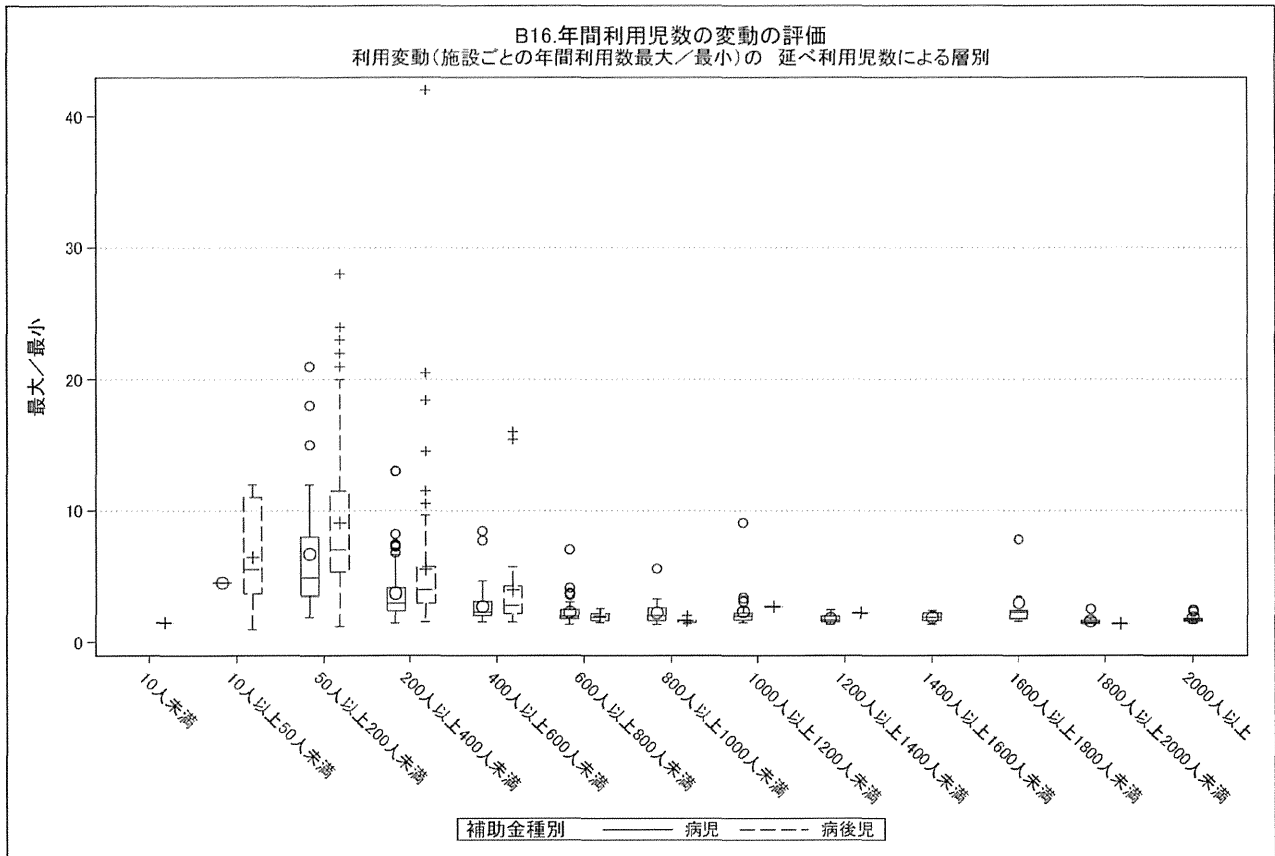


○ 各施設の平成24年度1年間における、最も利用児童が多かった月の延べ利用児童数と最も利用児童が少なかった月の延べ利用児童数の比（＝最多月の延べ利用児童数/最少月の延べ利用児童数）の中央値は2.7であり、この比は、病後児対応型施設(4.6)が病児対応型(2.3)より高かった。

B16. 利用児童数の最大月/最小月比と補助金種・施設型別

平成24年度1年間の 利用変動の評価	N	補助金種別										
		All	補助金種別		病児				病後児			
			病児	病後児	施設型				施設型			
各月の利用児童数の 最大/最小 (最小が0の施設は除 外)				診療所 併設	病院併 設	保育所 併設	単独型	診療所 併設	病院併 設	保育所 併設	単独型	
Mean	519	331	188	166	122	29	14	22	19	133	14	
Median	4.2	3.0	6.4	2.7	3.1	4.4	3.0	3.0	5.3	7.2	5.3	
Min	1	1	1	1	1	2	1	1	2	1	2	
Max	42	21	42	13	18	21	10	7	21	42	16	
NMiss	148	13	135	3	6	3	1	4	9	115	7	

- 施設毎の利用児童数月別変動を反映する「最も利用児童が多かった月の延べ利用児童数/最も利用児童が少なかった月の延べ利用児童数」の比は、年間延べ利用児童数が50人以上200人未満で最大であった（中央値6.5）。

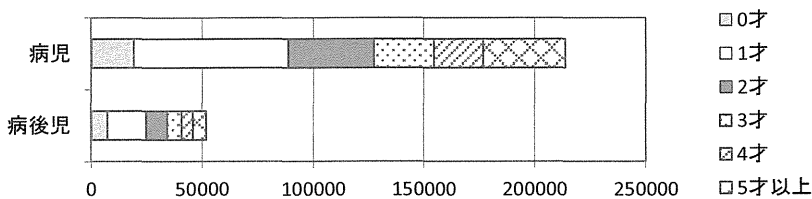
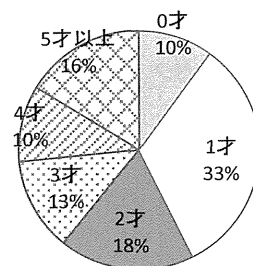


B17. 平成24年度1年間の年齢別延べ利用児童数

- 病児・病後児ともに1歳児が最も多く33%をしめ、3歳未満児が61%をしめた。

B17. 年齢別延べ利用児童数と補助金種別

	補助金種別					
	全体		病児		病後児	
	N	(%)	N	(%)	N	(%)
0歳	26740	(10.1)	19311	(9.0)	7429	(14.3)
1歳	86789	(32.6)	69393	(32.4)	17396	(33.5)
2歳	48108	(18.1)	38757	(18.1)	9351	(18.0)
3歳	33616	(12.6)	27073	(12.7)	6543	(12.6)
4歳	27445	(10.3)	22339	(10.4)	5106	(9.8)
5歳以上	43141	(16.2)	37057	(17.3)	6084	(11.7)
累計	265837	(100.0)	213930	(100.0)	51908	(100.0)

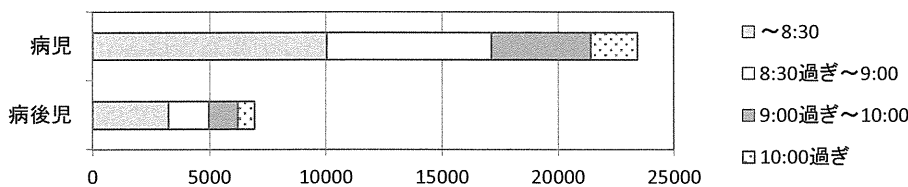
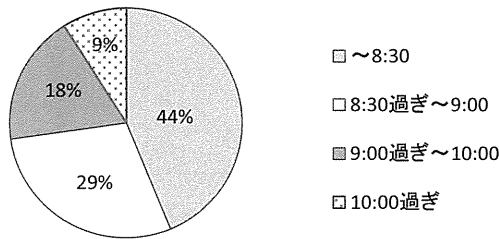


B18. 平成 25 年 6 月 1 か月間における利用児童の来室時間帯

○ 病児・病後児ともに午前 8:30 以前が最も多く全体の 44%をしめ、午前 9:00 以前が全体の 73%をしめた。

B18. 来室時間帯と補助金種別

来室時間帯	補助金種別					
	全体		病児		病後児	
	N	(%)	N	(%)	N	(%)
～8:30まで	13287	(43.8)	10045	(42.9)	3242	(46.8)
8:30過ぎ～9:00まで	8810	(29.0)	7101	(30.3)	1709	(24.7)
9:00過ぎ～10:00まで	5538	(18.2)	4272	(18.2)	1266	(18.3)
10:00過ぎ	2721	(9.0)	2014	(8.6)	707	(10.2)
累計	30356	(100.0)	23432	(100.0)	6924	(100.0)

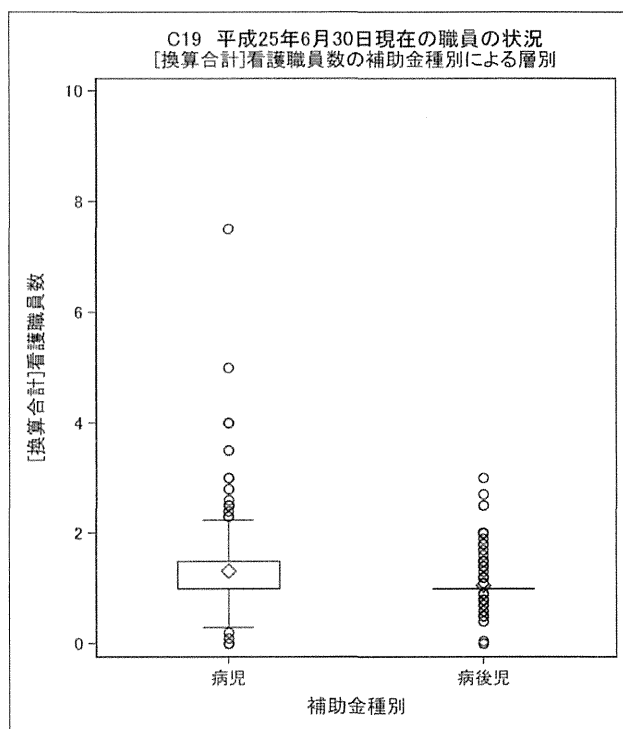
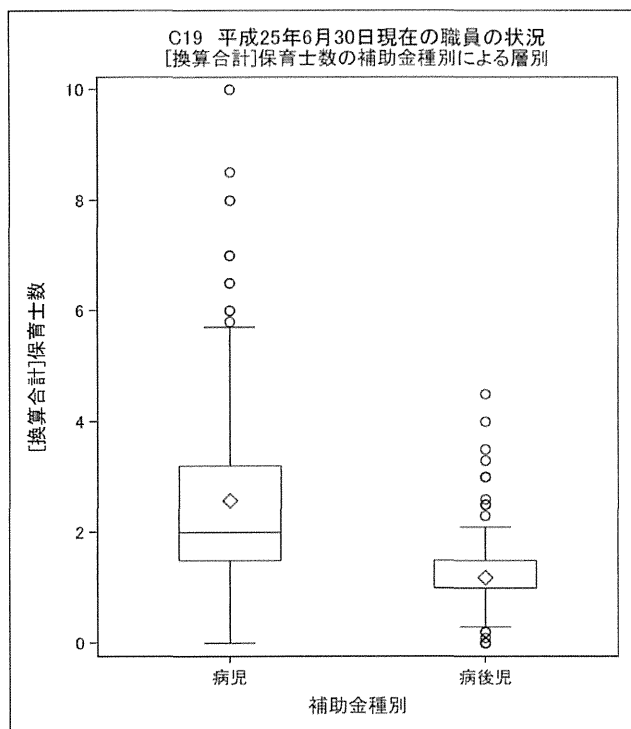


C19. 平成 25 年 6 月の職員状況（保育士・看護職員）

○ 常勤換算合計の中央値は、保育士 1.5 人、看護職員 1.0 人であった。保育士は病後児対応型（1.0 人）に比し、病児対応型（2.0 人）の方が多かったが、看護職員は病児・病後児ともに 1.0 人であった。

C19. 保育士・看護職員数と補助金種・施設型別

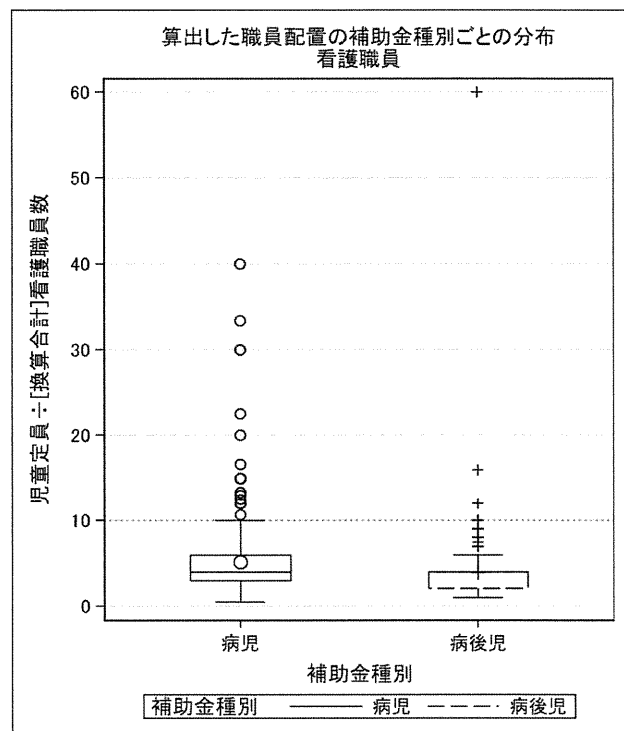
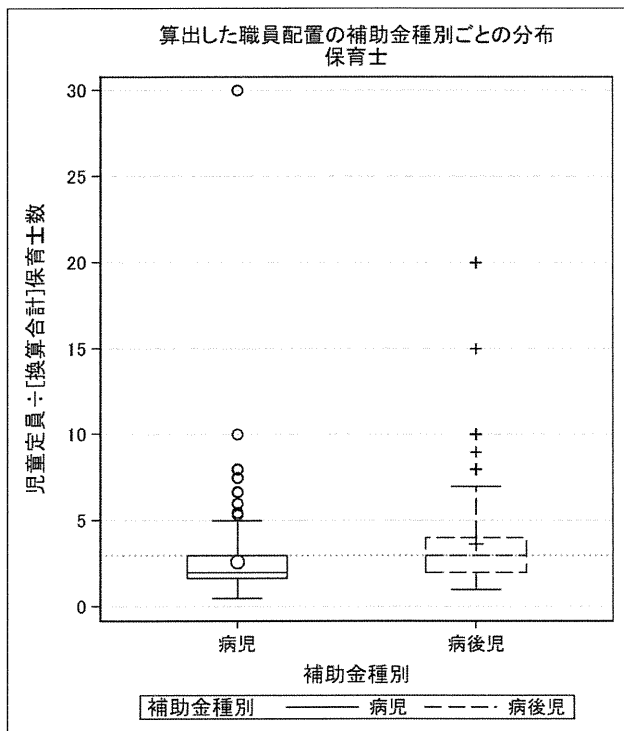
	All	補助金種別		施設型					
		病児	病後児	診療所併設	病院併設	保育所併設	単独型	その他	
施設数	N	717	362	355	200	160	283	37	37
[換算合計] 保育士数	N	667	349	318	196	155	252	30	34
	Mean	1.9	2.6	1.2	2.6	2.5	1.1	1.7	1.3
	Min	0	0	0	1	0	0	0	0
	Median	1.5	2.0	1.0	2.2	2.0	1.0	1.8	1.0
	Max	10	10	5	7	10	6	4	4
	NMiss	50	13	37	4	5	31	7	3
[換算合計] 看護職員数	N	663	333	330	186	141	269	32	35
	Mean	1.2	1.3	1.1	1.3	1.2	1.1	1.4	1.1
	Min	0	0	0	0	0	0	1	0
	Median	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.1	1.0
	Max	8	8	3	8	4	4	4	3
	NMiss	54	29	25	14	19	14	5	2



- 各施設の常勤換算保育士1人あたりの児童数（＝児童定員÷常勤換算合計保育士数）の中央値は、病児対応型では保育士1人あたり児童2.0人であったのに対し、病後児対応型では保育士1人あたり児童3.0人であった。
- 各施設の常勤換算看護職員1人あたりの児童数（＝児童定員÷常勤換算合計看護職員数）の中央値は、病児・病後児ともに、看護職員1人あたり児童4.0人であった。

C19. 保育士・看護職員1人あたりの児童定員数と補助金種・施設型別

		補助金種別			施設型				
		All	病児	病後児	診療所併設	病院併設	保育所併設	単独型	その他
施設数	N	717	362	355	200	160	283	37	37
児童定員÷[換算合計]保育士数	N	642	338	304	192	149	242	27	32
	Mean	3.1	2.6	3.6	2.4	2.8	3.7	3.1	3.9
	Min	1	1	1	1	1	1	1	1
	Median	2.7	2.0	3.0	2.0	2.0	3.0	2.6	3.0
	Max	30	30	20	8	30	20	8	20
	NMiss	75	24	51	8	11	41	10	5
児童定員÷[換算合計]看護師数	N	642	320	322	180	133	264	31	34
	Mean	4.5	5.2	3.9	5.1	5.6	3.6	3.5	5.3
	Min	1	1	1	1	2	1	1	1
	Median	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	3.8	4.0	4.0
	Max	60	40	60	30	40	12	8	60
	NMiss	75	42	33	20	27	19	6	3



C20. 職員配置

- 保育士1人に対する児童数の中央値は病児・病後児ともに2.0人、看護師1人に対する児童数の中央値は病児対応型で3.0人、病後児対応型で2.0人であった。

C20. 保育士・看護職員配置と補助金種別

職員1名あたりの児童数		All	補助金種別		施設型				
			病児	病後児	診療所併設	病院併設	保育所併設	単独型	その他
All	N	717	362	355	200	160	283	37	37
保育士1名に対する児童数 (基準:3)	N	666	353	313	196	155	248	32	35
	Mean	2.4	2.3	2.4	2.2	2.4	2.5	2.0	2.3
	Std	0.80	0.69	0.90	0.69	0.68	0.90	0.70	0.92
	Min	1	1	1	1	1	1	1	1
	Median	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
	Max	6	6	6	6	4	6	3	5
	NMiss	51	9	42	4	5	35	5	2
看護師に対する児童数 (基準:10)	N	550	255	295	153	99	235	31	32
	Mean	3.2	3.7	2.7	3.8	3.4	2.7	3.2	2.7
	Std	1.81	1.99	1.52	2.03	1.77	1.54	2.05	1.38
	Min	1	1	1	1	1	1	1	1
	Median	3.0	3.0	2.0	4.0	3.0	2.0	3.0	2.0
	Max	10	10	10	9	8	10	10	6
	NMiss	167	107	60	47	61	48	6	5

C21-22. 利用児童数変動への対応

- 人手がより手厚く必要な場合、「通常のスタッフ数で工夫する」、「施設内の他業務の保育士・看護師に応援を頼む」が各々半数を超えた。また、病児保育施設の 22%、病後児保育施設の 11%が「本来は勤務日ではないスタッフに応援を頼む」と回答した。
- 定員に空きがあり人手がかからない日の業務内容として、病児保育施設の 52%、病後児保育施設の 84%が併設施設の補助業務と回答した。

C21. 人手がより手厚く必要な場合のスタッフ体制と補助金種別

【複数回答可】	補助金種別					
	全体 (n=717)		病児 (n=362)		病後児 (n=355)	
	N	(%)	N	(%)	N	(%)
C21.人手がより手厚く必要な場合のスタッフ体制	200	(55.4)	200	(55.2)	197	(55.5)
1.いつものスタッフ数で工夫して対応する	186	(54.1)	186	(51.4)	202	(56.9)
2.施設内の他業務の保育士・看護師に応援を頼む	80	(16.7)	80	(22.1)	40	(11.3)
3.本来は勤務日でないスタッフに応援を頼む	23	(6.3)	23	(6.4)	22	(6.2)
4.他施設と連携して調整する	36	(7.3)	36	(9.9)	16	(4.5)
5.その他						

C22. 定員に空きがあり人手がかからない日の業務内容と補助金種別

(自由記載から抽出) 【複数回答可】	補助金種別					
	全体 (n=717)		病児 (n=362)		病後児 (n=355)	
	N	(%)	N	(%)	N	(%)
C22.定員に空きがあり、人手がかからない日の業務内容	367	(51.2)	255	(70.4)	112	(31.5)
1.病児・病後児保育に関する業務	484	(67.5)	185	(51.5)	289	(84.2)
2.併設施設の補助業務						

C22. 定員に空きがあり人手がかからない日の業務内容と施設型別

【複数回答可】 (自由記載から抽出)	施設型											
	全体 (n=717)		診療所併設 (n=200)		病院併設 (n=160)		保育所併設 (n=283)		単独型 (n=37)		その他 (n=37)	
	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)
1. 病児・病後児保育に関する業務	367	(51.2)	136	(68.0)	105	(65.6)	84	(29.7)	27	(73.0)	15	(40.5)
2. 併設施設の補助業務	484	(67.5)	91	(45.5)	87	(54.4)	258	(91.2)	17	(45.9)	31	(83.8)

C23. 利用児童の診察体制

- 病児対応型施設では事前診察制の施設が 77%、併設医療機関での回診制が 32%であった。

C23. 利用児童の診察体制と補助金種別

【複数回答可】	補助金種別					
	全体 (n=717)		病児 (n=362)		病後児 (n=355)	
	N	(%)	N	(%)	N	(%)
C23.病児・病後児の診察体制	279	(84.5)	279	(77.1)	327	(92.1)
1.医療機関での事前診察制	115	(18.8)	115	(31.8)	20	(5.6)
2.併設医療機関による回診制	9	(2.4)	9	(2.5)	8	(2.3)
3.契約医による回診制	10	(3.2)	10	(2.8)	13	(3.7)
4.診察の基準は特に設けていない	56	(10.3)	56	(15.5)	18	(5.1)
5.その他						

D24. 運営経費（支出・収入）等

- 1 か月あたりの給与中央値は、保育士 19.2 万円、看護職員 25.1 万円であった。
- 勤続年数中央値は、保育士 4.9 年、看護職員 5.5 年であった。

D24. 常勤換算人員 1 人あたりの給与額・勤続年数と補助金種別

2013年度に開室した53施設は除外		All		勤務区分				補助金種別			
		保育士	看護職員	常勤		非常勤		病児		病後児	
				保育士	看護職員	保育士	看護職員	保育士	看護職員	保育士	看護職員
給与総額／換算人員 (千円/月)	N	569	497	334	340	235	157	337	266	232	231
	Mean	203.8	263.0	231.9	288.7	163.8	207.2	210.5	282.4	194.1	240.6
	Std	135.6	158.8	101.4	119.8	165.2	210.9	155.4	178.9	99.7	128.8
	Min	0	0	9	7	0	0	0	0	2	0
	Median	191.7	250.8	227.8	282.3	152.1	193.7	195.1	271.3	189.2	237.5
	Max	2288	2279	985	871	2288	2279	2288	2279	672	871
勤続年数	N	639	552	373	385	266	167	377	294	262	258
	Mean	4.9	5.5	5.6	6.2	4.0	3.8	4.3	5.8	5.8	5.1
	Std	4.9	5.6	5.7	6.1	3.4	3.8	3.6	5.7	6.3	5.5
	Min	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	Median	4.0	4.0	4.0	4.0	3.0	3.0	3.0	4.0	4.0	4.0
	Max	40	32	40	32	25	27	26	30	40	32